

有限会社太田硝子店

■事業

サンドブラストの商品開発と生産体制を確立して販路拡大を図る

■対象類型

革新的サービス 新規顧客層への展開、商圏の拡大、独自性・独創性の発揮、顧客満足度の向上、IT活用、サービス提供プロセスの改善

■導入機械装置

フィルム製版機

□ものづくり技術 ☒革新的サービス

ガラスを扱い100年余確かな技術で信頼築く サンドブラスト事業立ち上げ

地元に根ざした企業姿勢 顧客の要望に適切に対応

日本のガラスの歴史と歩みをともし、平成25年、創業100年を迎えた。昭和30年ごろまではガラスの卸、修繕、陳列ケースの製作を主に手掛け、高度成長期に住宅用サッシの施工、店舗改装、一時は自動車用ガラスも扱うなど事業を拡大した。近年は、エコガラスや防犯ガラス、玄関や窓サッシの取り替えなどのほかテラスやカーポートといったエクステリア施工、バスやキッチンのリフォームなど住まいに関する幅広い分野の仕事をごこなす。全社員がガラス施工技能士1級の資格を持ち、顧客の要望に適切に対応できるのが強みだ。確かな技術と地域に根ざした企業姿勢が、信頼を築いてきた。松江市内の幼稚園や学校の窓の修理はどんなに忙しくても迅速に対応する。創業時からの申し送りで、社としての誇りでもある。創業100年を機に、本社3階を多目的ホールとギャラリーに改装、ヨガ教室に利用されるなど地域との接点が広がった。もう一つの取り組みがガラスアート「サンドブラスト」。平成27年から、新規事業としてスタートした。

工程上のネックを解消 デザインの幅も広がる

サンドブラストは、ガラスの表面に砂を吹きつけ、文字や模様を彫刻するガラス工芸の技法。記念のプレートやトロフィー、各種ガラス、酒類のボトルなど幅広い商品の展開が可能だ。制作手順の中で、デザインした文字や模様をフィルムに転写し、露光部分を溶かし落とす作業を今回導入したフィルム製版機が自動的に行う。これまでは、すべて手作業でフィルムを扱っていたため失敗も多く、工程上のネックとなっていた。製版機導入後は、作業が安定、ロスが減少し、納期短縮にもつながった。細い線が描けるためデザインの幅が広がり、より顧客のニーズに応えることができるようになった。生産体制が整ったことで、積極的な営業展開が可能になり、既に、県内の企業や各種団体から表彰状や記念品を定期的に受注。平成30年10月には、市内の神社の遷宮記念の盾やガラスなど大量注文を受け、納品した。



代表取締役社長 太田裕子



1 導入したフィルム製版機
2 サンドブラスト加工した商品群
3 100年企業太田硝子店の銘板



学校や企業、百貨店も通して販路開拓 高齢社員や母親たちの働く場に

作業効率の向上で、本業の建築ガラス業の繁忙期でも、サンドブラスト商品の受注が可能になった。硝子店が扱う上質なサンドブラスト商品として学校や官公庁、企業、各種団体にアピール。直接口座を開設した大手百貨店などを通して販路を開拓していく考えた。酒類のボトルに加工した商品を百貨店などに納めるため酒販権も取得した。当面は地元での認知に力を入れ、将来的にはネット販売も視野に入れている。社長の太田裕子さんがサンドブラスト事業を立ち上げたのには理由がある。退職年齢を迎える社員に、会社に残ってもらうためだ。「豊かな経験は、代え難い価値がある。体力は衰えても気兼ねなく仕事ができる場を作りたかった。融通が利く職場にして、育児期の母親たちにも加わってもらい、楽しくものづくりができる部署にしたい」というのが夢だ。

■Company Data

有限会社太田硝子店



太田硝子店本社

代表者名：太田 裕子
創業年月：明治45年6月
設立年月日：昭和25年7月29日
資本金：4,500千円
従業員数：6名
業種：建築材料、鉱物・金属材料等卸売業
売上：90百万円
住所：〒690-0062 島根県松江市魚町51-1
電話：0852-23-3838
FAX：0852-23-3802
URL：<http://www.ohta-glass.com/>